

# KDDI Business ID – Google Workspace 連携設定マニュアル

---

ver. 2.8.1

KDDI 株式会社

---

# 目次

目次	1
第0章 本マニュアルについて	2
0.1. 初期設定手順の流れ	2
0.2. 事前確認事項	2
第1章 Step 1 - 開通～管理者初期設定	3
1.1. サービス開通のご案内メール	3
1.2. Google Workspace 特権管理者 本パスワード設定	3
第2章 Step 2 - SSO 事前準備	4
2.1. Google API 設定	4
2.1.1. Google Developer Console の有効化	4
2.1.2. API アクセス設定	5
2.1.3. OAuth2.0 クライアント設定	7
2.2. 認証情報設定	12
2.3. 高度な設定	13
2.3.1. パスワード設定（既存 Google Workspace ユーザ／管理者）	13
2.3.2. ドメイン設定（セカンダリドメインの追加）	14
第3章 Step 3 - ユーザ登録	16
3.1. セキュリティ設定	16
3.2. ユーザ登録	16
3.3. ユーザに Google Workspace サービスの紐付け	17
3.4. ユーザの利用開始手順	18
3.4.1. ユーザ自身がパスワード設定する場合	19
3.4.2. 管理者がパスワードを設定した場合	19
第4章 Step 4 - SSO 切り替え	20
4.1. 証明書ダウンロード	20
4.2. SSO 設定有効化	21
第5章 Step 5 - Google Workspace サービス利用	24
5.1. サービス利用	24
第6章 Google Workspace グループ設定	25
6.1. Google Workspace グループを追加する	25
6.2. Google Workspace グループを参照する	26
6.3. Google Workspace グループを変更する	27
6.4. Google Workspace グループを削除する	28
6.5. Google Workspace グループにユーザを追加する	28
6.6. Google Workspace グループからユーザを削除する	29
第7章 利用開始後の操作／設定変更	31
7.1. ユーザ情報変更	31
7.2. ユーザの Google Workspace 権限変更	31
7.3. ユーザの Google Workspace 紐付け解除	31
7.4. ユーザ削除	31
7.5. SSO 設定解除	32
7.5.1. 「Google Workspace」SSO と ID 連携解除	32
7.5.2. 「My KDDI Biz（旧 KDDI ビジネスオンラインサポート）」SSO 設定解除	34
更新履歴	36

## 第0章 本マニュアルについて

本マニュアルでは「KDDI Business ID」にて「Google Workspace」のシングルサインオン(以下、SSO)を利用するために管理者さまに実施いただく設定手順について記載しています。

### 0.1. 初期設定手順の流れ

初期設定手順は大きく分けて以下の5段階となります。

- Step 1 : 開通～管理者初期設定
- Step 2 : SSO 事前準備
- Step 3 : ユーザ登録
- Step 4 : SSO 切り替え
- Step 5 : Google Workspace サービス利用

以降の章で、各 Step の詳細な設定手順を記載します。順にすべて実施いただくことで、「KDDI Business ID」の認証経由で「Google Workspace」を利用できるようになります。

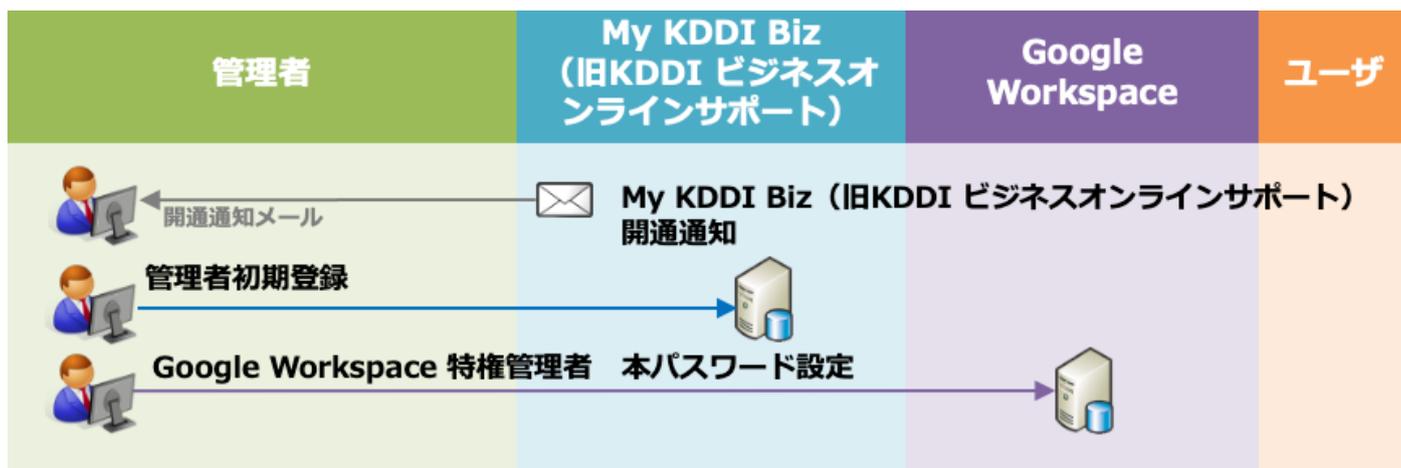
### 0.2. 事前確認事項

初期設定手順を実施いただく前に、以下を必ずご確認ください。

- ・本マニュアルは、『KDDI Business ID 設定マニュアル』の別紙の位置づけとなります。『KDDI Business ID 設定マニュアル』内で記載している手順については、本マニュアルでは記載を割愛している場合がありますので、両マニュアルを併せてご確認くださいようお願いします。
- ・本マニュアルにて記載している「Google Workspace」の管理コンソールの手順および画面イメージは、今後「Google Workspace」サービス側にて変更される場合がありますのでご了承ください。
- ・すでに「Google Workspace」をご利用中の場合、Step 3 実施後は直接「Google Workspace」の利用ができなくなります。その後 Step 4 実施完了までは Gmail 等の利用ができなくなりますのでご注意ください。

## 第1章 Step 1 - 開通～管理者初期設定

Step 1 : 開通～管理者初期設定の詳細手順について説明します。



### 1.1. サービス開通のご案内メール

新規に「KDDI Business ID」をお申し込みいただくと、申込書に記載の管理者メールアドレス宛に「My KDDI Biz (旧 KDDI ビジネスオンラインサポート)」より開通通知メールが届きます。

メール送信元：[mail-bizportal@mail.bizportal.kddi.com](mailto:mail-bizportal@mail.bizportal.kddi.com)

メール題名：【My KDDI Biz (旧 KDDI ビジネスオンラインサポート)】申込受付完了のお知らせ

メールが届いていることを確認したら、メール本文に記載されているワンタイム URL へアクセスし、パスワードの設定を実施してください。

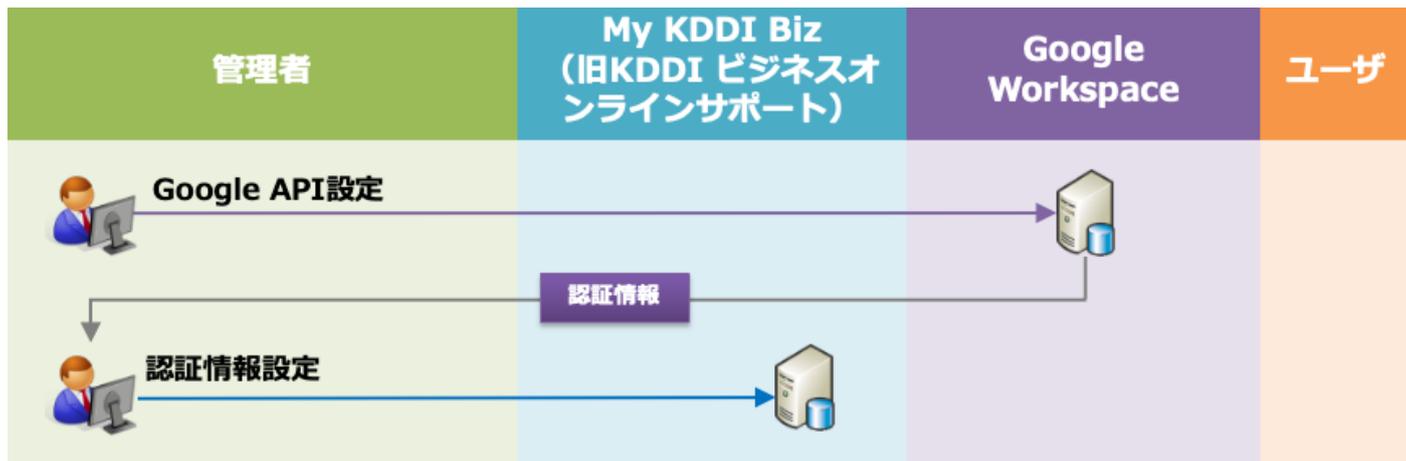
### 1.2. Google Workspace 特権管理者 本パスワード設定

「Google Workspace」を新規にご利用される場合は、「Google Workspace」の管理コンソールへログインし、特権管理者の本パスワードを設定してください。※詳細は「Google Workspace」サービスからのご案内を参照してください。

既に「Google Workspace」をご利用中の場合は、特権管理者のログイン ID とパスワードをご用意ください。以降の手順で使用します。

## 第2章 Step 2 – SSO 事前準備

Step 2 : SSO 事前準備の詳細手順について説明します。



### 2.1. Google API 設定

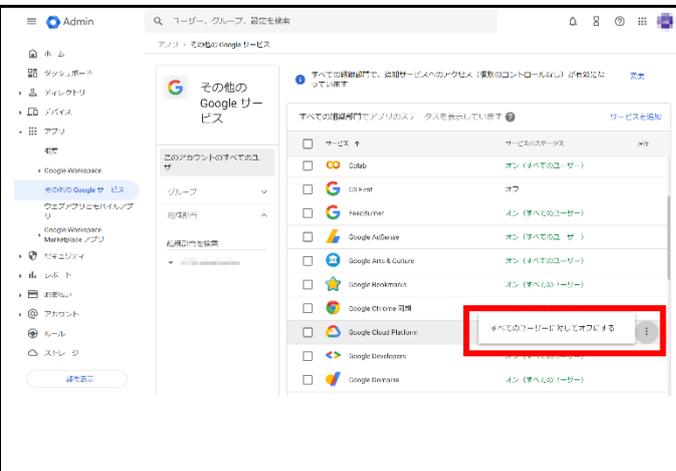
サービス間の連携を行うため、Google API の設定を行います。

#### 2.1.1. Google Developer Console の有効化

連携を有効化するためのサービス「Google Developer Console」を利用できるようにします。

<p>1. 下記 URL にアクセスし、1.2. の手順で設定もしくは確認した特権管理者にてログインします。</p> <p>URL : <a href="https://admin.google.com/">https://admin.google.com/</a></p>	
<p>2. 左側のメニューより <u>アプリ</u> → <u>その他の Google サービス</u> をクリックします。</p>	

3. Google Cloud Platformの サービスのステータス 列を確認します。ステータスがオフであった場合は、右側の設定メニューより すべてのユーザーに対してオンにする を実行してください。既にオンに設定されていた場合は、変更不要です。



### 2.1.2. API アクセス設定

「Google Developer Console」で API アクセス設定を行います。

1. 下記 URL にアクセスし、プロジェクトを作成 をクリックします。

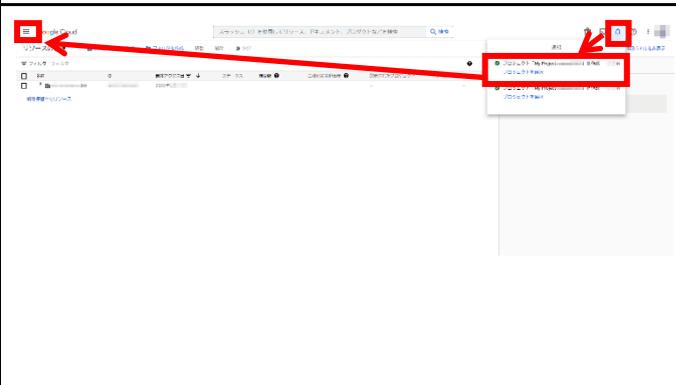
URL :  
<https://console.cloud.google.com/cloud-resource-manager>



2. 任意のプロジェクト名を入力して 作成 をクリックします。

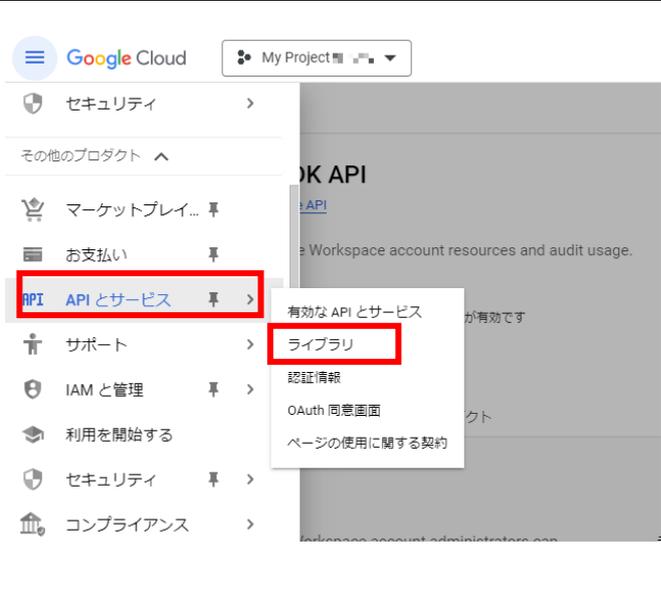


3. 画面右上の 通知マーク(鐘のマーク) をクリックし進捗を確認。完了したら左上の メニューマーク(三のような形) をクリックします。

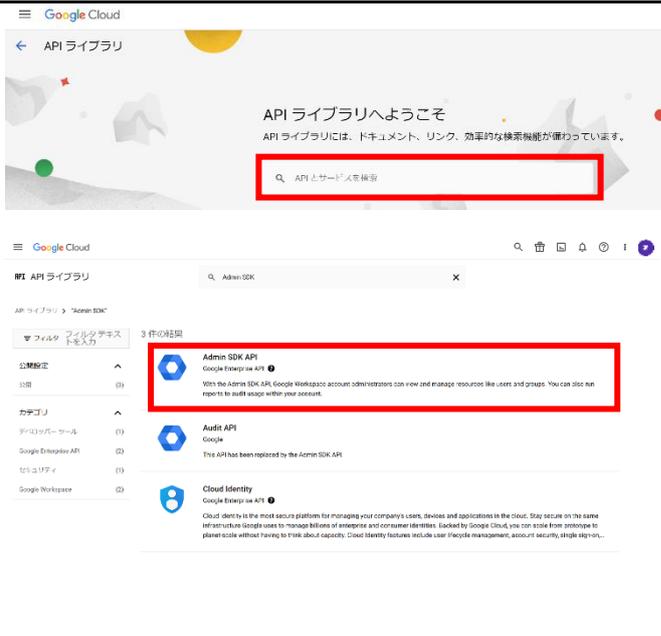


4. 左上の メニューマーク(三のような形) をクリックし、その他のプロダクト → API とサービス → ライブラリ をクリックします。

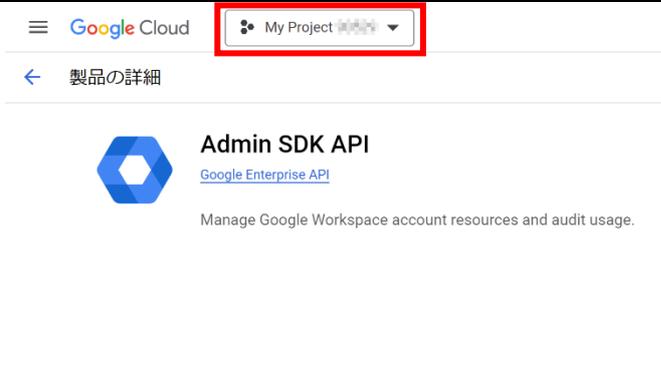
※ご利用状況によっては「固定されたプロダクト」配下に項目がある場合があります。



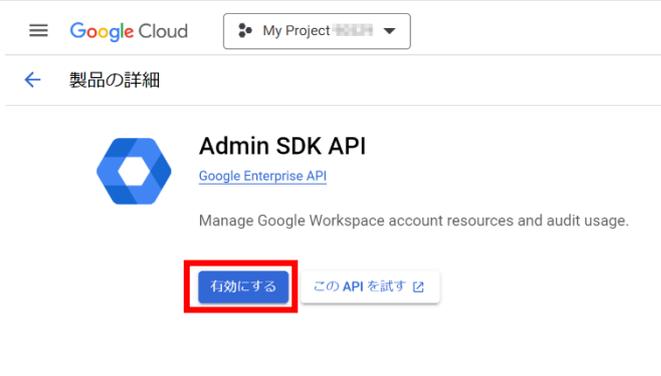
5. 検索欄に Admin SDK と入力し、表示された Admin SDK API をクリックします。



6. Google Cloud の右横のプルダウンで、先ほど作成したプロジェクト名 を選択します。

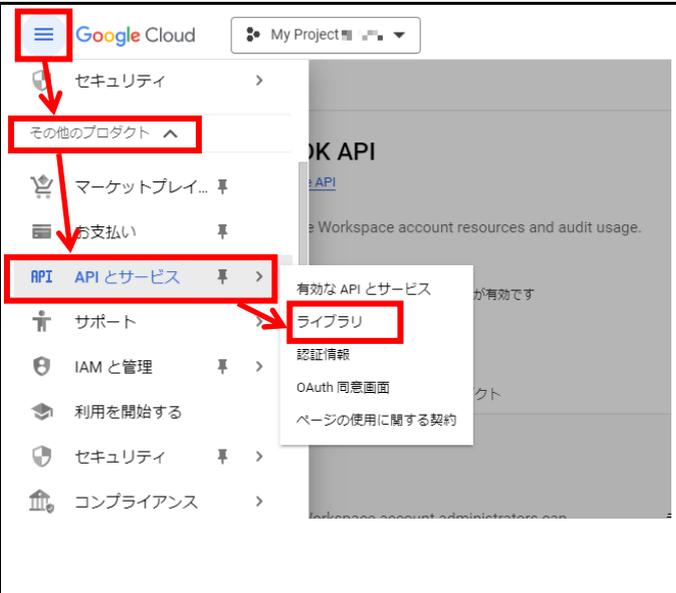


7. 有効にする をクリックします。

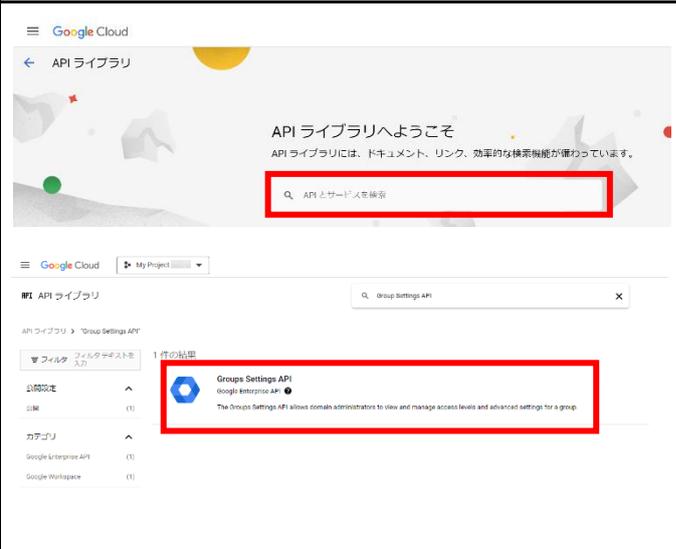


8. 左上の メニューマーク(三のような形) をクリックし、その他のプロダクト → API とサービス → ライブラリ をクリックします。

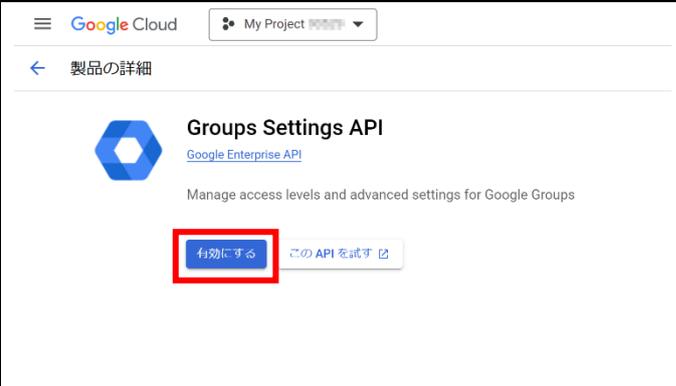
※ご利用状況によっては「固定されたプロダクト」配下に項目がある場合があります。



9. 検索欄に Group Settings API と入力し、表示された Group Settings API をクリックします。



10. 有効にする をクリックします。

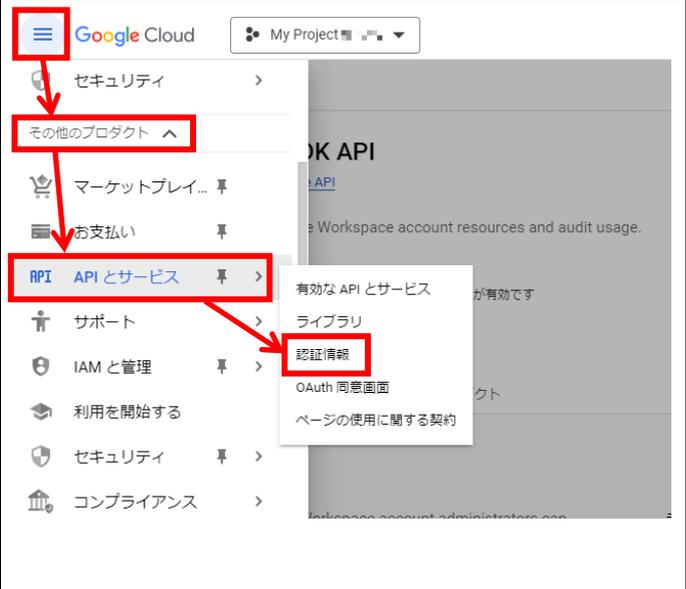


### 2.1.3. OAuth2.0 クライアント設定

「Google Developer Console」で OAuth2.0 クライアント設定を行います。

1. 左上の メニューマーク(三のような形) をクリックし、その他のプロダクト → API とサービス → 認証情報 をクリックします。

※ご利用状況によっては「固定されたプロダクト」配下に項目がある場合があります。



2. 認証情報を作成 → サービスアカウント をクリックします。

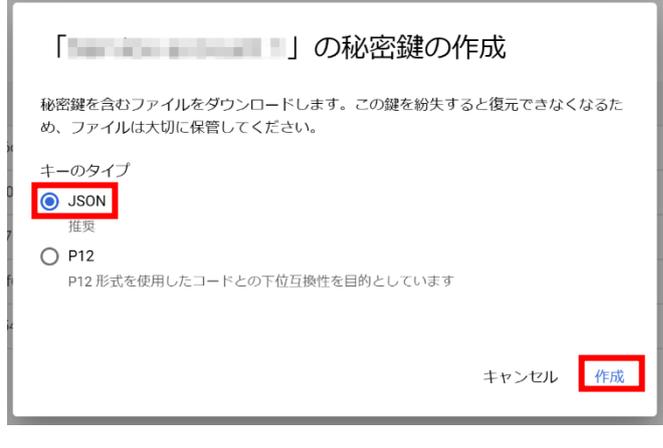


3. サービス アカウント名 に任意の名称を入力して 作成して続行 をクリックします。



4. ロール に「オーナー」を選択して 完了 をクリックします。



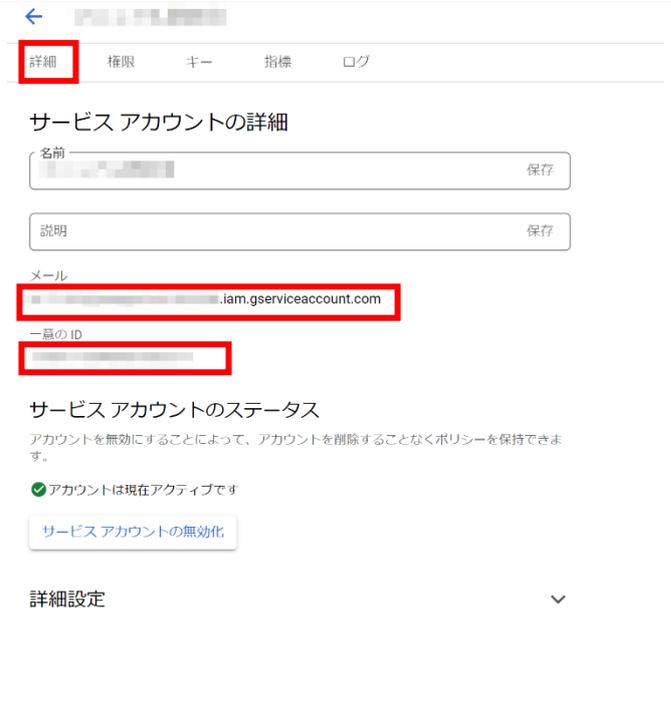
<p>5. サービス アカウントの <u>メール部分</u> をクリックします。</p>	
<p>6. <u>キー</u> をクリックします。</p>	
<p>7. <u>鍵を追加</u> → <u>新しい鍵を作成</u> をクリックします。</p>	
<p>8. <u>JSON</u> を選択し、<u>作成</u> をクリックします。</p>	

9. 秘密鍵ファイル (xxxx.json) がダウンロードされますので任意のフォルダへ保存してください。



10. 詳細 をクリックします。

11. 表示されている メール (xxx@xxxxxx.iam.gserviceaccount.com) と 一意の ID をメモ帳などに控えます。



12. Google Workspace 管理メニューの画面に戻り以降の操作を続けます。

URL : <https://admin.google.com/>



13. 左上の メニューマーク(三のような形) をクリックし、セキュリティ → アクセスとデータ管理 → APIの制御 → ドメイン全体の委任を管理 をクリックします。



<p>14. <u>新しく追加</u> をクリックします。</p>	
<p>15. <u>クライアントID</u> の欄に前の手順で控えた「一意のID」を入力します。</p> <p>16. <u>OAuth スコープ</u> の欄に、下記スコープ情報をコピーした内容（カンマ区切り、改行なし）を入力し、<u>承認</u> をクリックします。</p>	
<p><b>【ポイント】 スコープ情報</b> 下記の1行をコピー&amp;ペーストしてください。</p>	
<p>17. 指定したスコープがすべて登録されていることを確認します。</p>	

## 2.2. 認証情報設定

「My KDDI Biz (旧 KDDI ビジネスオンラインサポート)」にて Google API の認証情報を登録します。

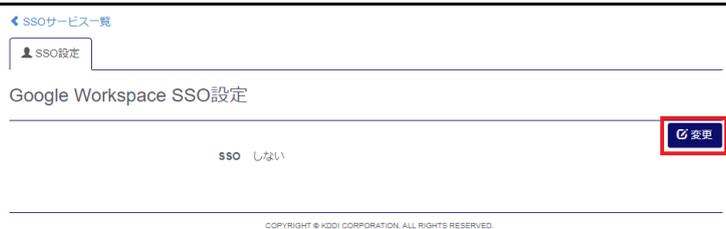
1. 「My KDDI Biz (旧 KDDI ビジネスオンラインサポート)」にログインし、サービス → SSO 設定 をクリックします。



2. Google Workspace の 設定 をクリックします。



3. Google Workspace SSO 設定画面で 変更 をクリックします。



4. SSO 設定にて する を選択し、入力フォームに以下の内容を入力の上 確認 をクリックします。

特権管理者 ID :

2.1.1 の手順を行った Google Workspace 特権管理者 ID を入力

メールアドレス :

2.1.3 の手順 12 で控えた「メール」を入力

秘密鍵タイプ :

JSON を選択

秘密鍵(JSON) :

2.1.3 の手順 9 で保存した秘密鍵ファイル (xxxx.json) を指定



<p>※「高度な設定」はここでは設定不要です。</p>	
<p>5. 表示されている特権管理者 ID に間違いのないことを確認し <b>完了</b> をクリックします。</p>	 <p>Google Workspace SSO設定 (確認)</p> <p>認証設定を以下の内容で設定します。よろしいですか？</p> <p>SSO する          特権管理者ID [redacted]          メールアドレス [redacted]          秘密鍵タイプ JSON          秘密鍵ファイル名 [redacted].json</p> <p>上記の認証情報の指定に誤りがあった場合、ユーザ追加/グループ追加等Google Workspaceと連携するメニューの操作が正常に反映されませんので、ご注意ください。</p> <p>戻る <b>完了</b></p> <p><small>COPYRIGHT © KDDI CORPORATION. ALL RIGHTS RESERVED.</small></p>

## 2.3. 高度な設定

SSO 設定画面における「高度な設定」について説明します。必要な場合のみ設定を実施してください。

### 2.3.1. パスワード設定（既存 Google Workspace ユーザ／管理者）

SSO 設定以前に Google Workspace を利用している場合に、既存 Google Workspace ユーザおよび管理者のパスワード書き換えを行うかどうかの設定です。書き換え有無による動作の差異は以下の通りです。

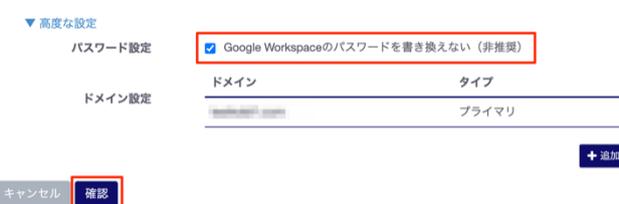
設定内容	特徴
<p><b>Google Workspace のパスワードを書き換える</b>                      [推奨]</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>既存 Google Workspace ユーザ：SSO 利用開始時に Google Workspace アプリ/ブラウザ上のログインセッションが強制リセットされ、SSO による再ログインを求められます。</li> <li>既存 Google Workspace 管理者：従来の Google Workspace パスワードは使用不可となり、次回ログイン以降は My KDDI Biz（旧 KDDI ビジネスオンラインサポート）のホーム画面経由でのパスフレーズによる認証が必要となります。</li> </ul>
<p><b>Google Workspace のパスワードを書き換えない</b>                      [非推奨]</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>既存 Google Workspace ユーザ：SSO 利用開始しても既存ユーザの Google Workspace アプリ/ブラウザ上のログインセッションは維持されます。</li> <li>既存 Google Workspace 管理者：従来のパスワードのまま Google Workspace へ直接ログイン可能な状態となります。</li> </ul>

Google Workspace のパスワードを書き換えない場合は以下の手順を実施してください。

- 2.2. の手順で Google Workspace SSO 設定画面を開きます。
- 高度な設定** をクリックします。



- 「Google Workspace のパスワードを書き換えしない (非推奨)」** をチェックします。
- 確認** をクリックします。



- 表示されている内容に間違いがないことを確認し **完了** をクリックします。



### 2.3.2. ドメイン設定 (セカンダリドメインの追加)

Google Workspace にてセカンダリドメインを登録し SSO 利用される場合、以下の手順を実施してください。

- 2.2. の手順で Google Workspace SSO 設定画面を開きます。
- 高度な設定** をクリックします。



3. ドメイン欄に、追加するセカンダリドメインを入力します。  
 複数のセカンダリドメインを設定する場合は **追加** をクリックしてください。

4. **確認** をクリックします。

▼ 高度な設定

パスワード設定  Google Workspaceのパスワードを書き換えない (非推奨)

ドメイン	タイプ
example.com	プライマリ
example.com	セカンダリ

キャンセル **確認** **+ 追加**

COPYRIGHT © KDDI CORPORATION, ALL RIGHTS RESERVED.

5. 表示されている内容に間違いがないことを確認し **完了** をクリックします。

#### Google Workspace SSO設定 (確認)

認証設定を以下の内容で設定します。よろしいですか？

SSO する

特権管理者ID example.com

メールアドレス example@example.com

秘密鍵タイプ JSON

秘密鍵ファイル名 example.json

Google Workspaceパスワード 書き換えない (非推奨)

セカンダリドメイン example.com

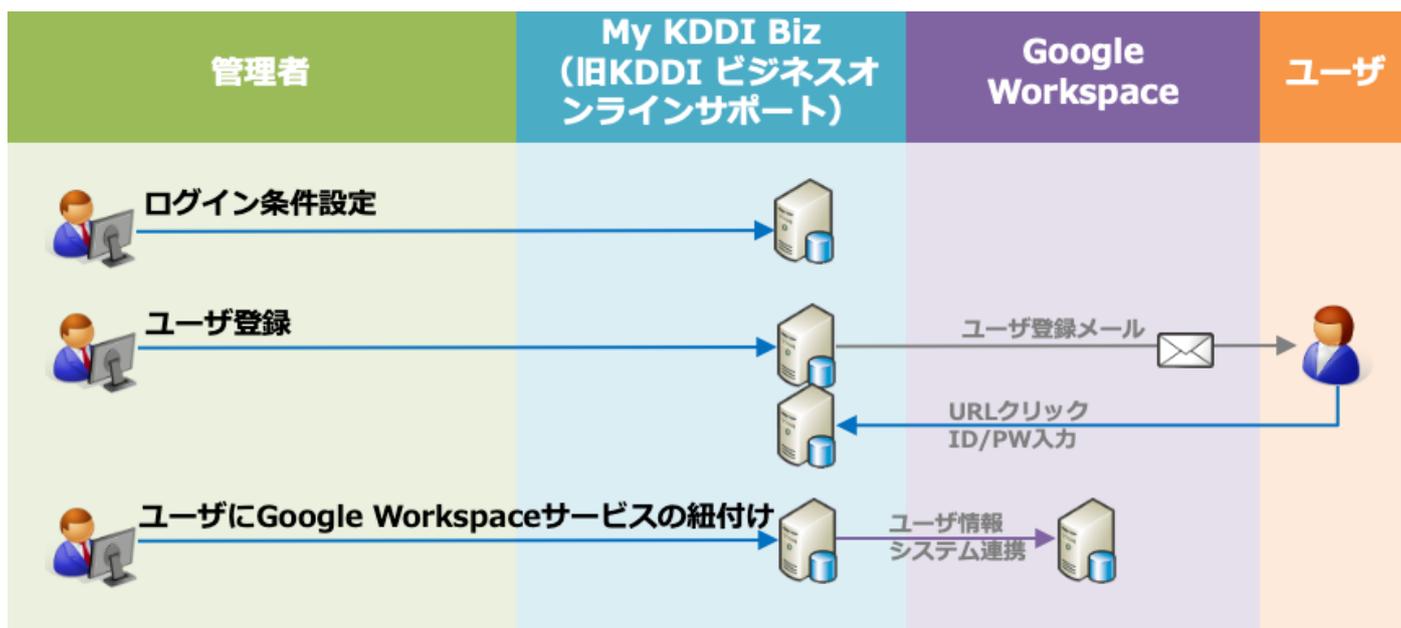
戻る **完了**

COPYRIGHT © KDDI CORPORATION, ALL RIGHTS RESERVED.

上記の認証情報の指定に誤りがあった場合、ユーザ追加/グループ追加等Google Workspaceと連携するメニューの操作が正常に反映されませんので、ご注意ください。

## 第3章 Step 3 - ユーザ登録

Step 3 : ユーザ登録の詳細手順について説明します。



### 3.1. セキュリティ設定

「KDDI Business ID」ではIPアドレスによるアクセス制限が可能です。また多要素認証の適用やブラウザ制限の利用設定、パスワード強度の設定も可能です。

各種制限設定の手順については、『KDDI Business ID 設定マニュアル』の「セキュリティ」の章を参照ください。

### 3.2. ユーザ登録

「My KDDI Biz (旧KDDI ビジネスオンラインサポート)」に対し、「Google Workspace」を利用するユーザの登録を行います。

ユーザ登録の方法は以下の2種類が存在します。それぞれ記載のマニュアルを参照の上登録願います。

方法	説明	マニュアル
A. 個別登録	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1名ずつの登録</li> <li>・ユーザへのサービス紐付けは別途実施要</li> </ul>	『KDDI Business ID 設定マニュアル』の「ユーザを追加する」
B. 一括登録	<ul style="list-style-type: none"> <li>・複数ユーザを1度に登録可能</li> <li>・CSVによる登録</li> <li>・ユーザへのサービス紐付けも同時に実施可</li> </ul>	『KDDI Business ID 設定マニュアル』の「ユーザを一括追加・変更する」

Aを実施した場合、もしくはBでユーザ登録を実施したがサービスの紐付けは未実施の場合、3.3.へ進みます。

Bを実施した際に、サービス紐付けを同時に実施した場合は3.4.へ進みます。

### 3.3. ユーザに Google Workspace サービスの紐付け

「My KDDI Biz (旧 KDDI ビジネスオンラインサポート)」管理者画面より、各ユーザへ「Google Workspace」サービスの紐付けを行います。

#### 【注意事項】既存 Google Workspace アカウントについて

既存の「Google Workspace」ユーザアカウントに対して「KDDI Business ID」を適用する場合は、本手順 5 にて当該ユーザの ID を入力してください。

また、本手順実施後、「Google Workspace」への直接ログインはできなくなります。第 4 章の手順を実施し SSO 切り替えが完了するまでは Gmail 等の利用ができなくなりますので、ご注意ください。

1. 「My KDDI Biz (旧 KDDI ビジネスオンラインサポート)」にて ユーザ → ユーザ一覧 をクリックします。

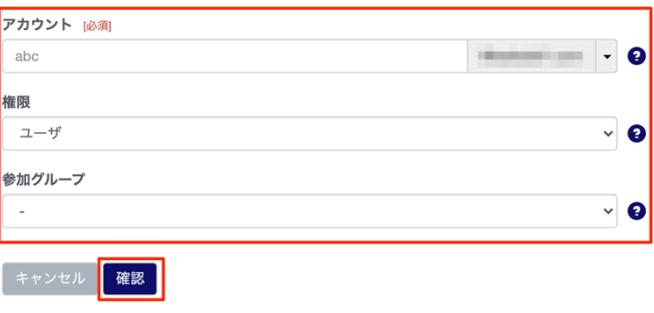
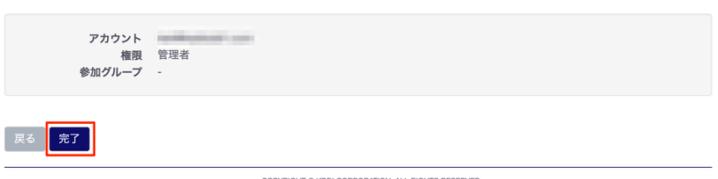


2. 対象ユーザの ID をクリックします。



3. サービス情報 タブをクリックします。



<p>4. <u>Google Workspace</u> をクリックします。</p>	
<p>5. 入力フォームに以下の内容を入力の上 <u>確認</u> をクリックします。</p> <p>アカウント(前半) : Google Workspace ユーザ ID の@より前の文字列</p> <p>アカウント(後半) : ドメインが複数ある場合、いずれかを選択</p> <p>権限 : ユーザ/管理者のいずれかを選択 ユーザ : Google Workspace でユーザ権限とする場合に指定 管理者 : Google Workspace で管理者権限とする場合に指定</p> <p>参加グループ : 作成したグループを選択可能です。</p>	<p>Google Workspace登録 (入力)</p> 
<p>6. <u>完了</u> をクリックします。</p>	<p>Google Workspace登録 (確認)</p> 
<p>7. サービス登録状態が「登録済」となったら完了です。</p> <p>※1~7の手順を対象のユーザ数分繰り返します。</p>	
<p><b>【注意事項】登録エラーとなった場合</b> サービス登録状態が「登録エラー」となった場合、第2章の全体管理者設定が誤っている可能性があります。設定を見直し、一度紐付け解除後に再度登録を実施ください。</p>	

### 3.4. ユーザの利用開始手順

管理者によって追加されたユーザが「My KDDI Biz (旧 KDDI ビジネスオンラインサポート)」を利用開始する際の手順です。

### 3.4.1. ユーザ自身がパスワード設定する場合

管理者によるユーザ追加時に、パスワード設定方法を「ユーザが設定」とした場合、メール送付する各ユーザの「通知先メールアドレス」宛に、パスワード設定メールが届いています。

メール送信元：mail-bizportal@mail.bizportal.kddi.com

メール題名：【My KDDI Biz (旧 KDDI ビジネスオンラインサポート)】ユーザ初期設定のお願い

各ユーザにてメール記載のワンタイム URL へアクセスし、パスワード設定を実施いただくようご案内ください。

**【注意事項】メール内の URL には有効期限が設定されています**

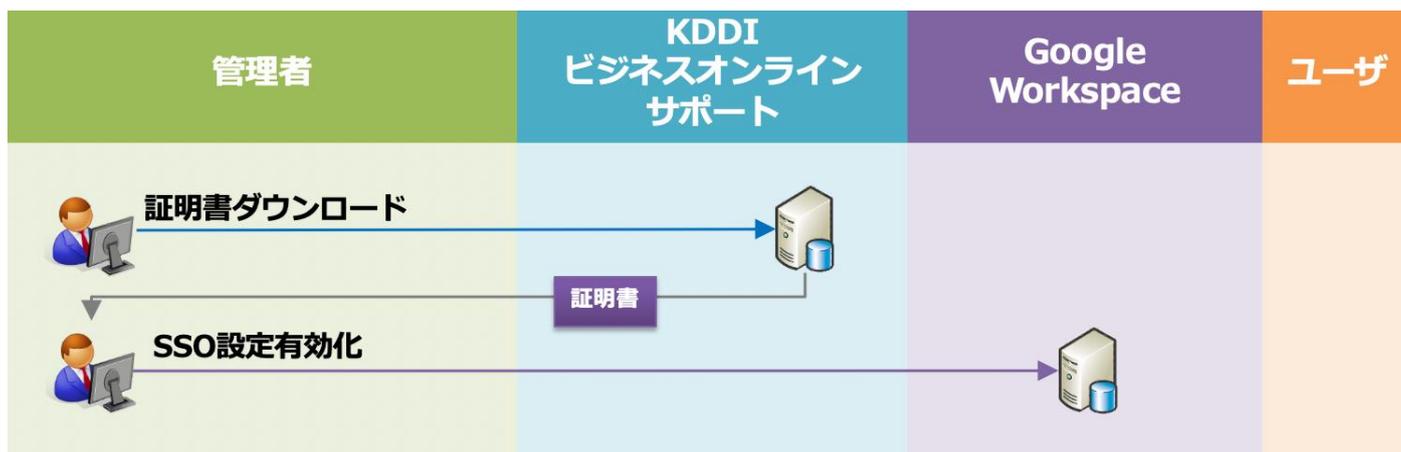
メールに記載されている URL は、送信日を含む 7 日間の有効期限を設定しています。期限が切れてしまった場合、ログイン画面の「パスワードを忘れた方はこちら」よりパスワード設定を実施してください。

### 3.4.2. 管理者がパスワードを設定した場合

管理者によるユーザ追加時、パスワード設定方法を「管理者が設定」とした場合、ユーザに対してメールは送信されません。管理者にて設定したパスワードを各ユーザへご案内ください。

## 第4章 Step 4 - SSO切り替え

Step 4 : SSO 切り替えの詳細手順について説明します。



### 4.1. 証明書ダウンロード

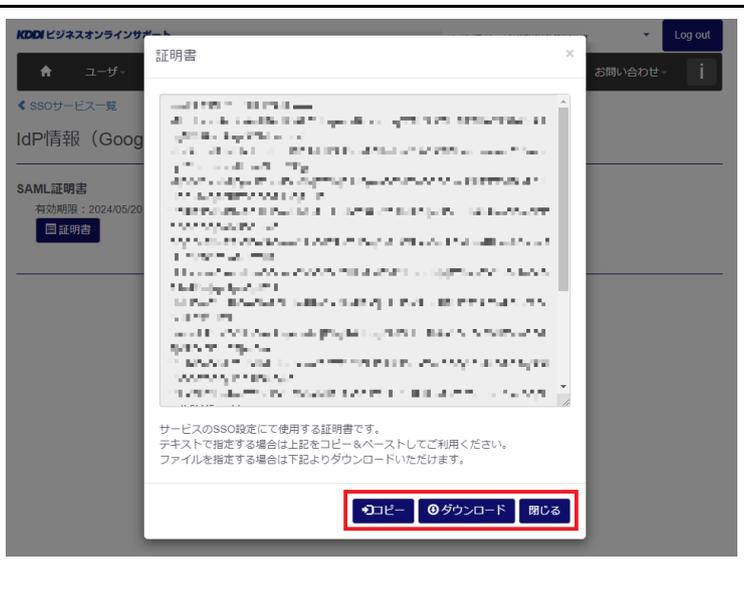
「Google Workspace」のSSO設定に必要な証明書をダウンロードします。

<p>1. 「My KDDI Biz (旧 KDDI ビジネスオンラインサポート)」にて サービス → <u>SSO 設定</u> タブをクリックします。</p>	
<p>2. Google Workspace の <u>IdP 情報</u> をクリックします。</p>	
<p>3. <u>証明書</u> をクリックします。</p>	

4. 証明書が表示されたら、ダウンロード もしくは コピー をクリックします。

ファイル名 : certificate.crt

5. 任意の場所に証明書を保存したら 閉じる をクリックします。



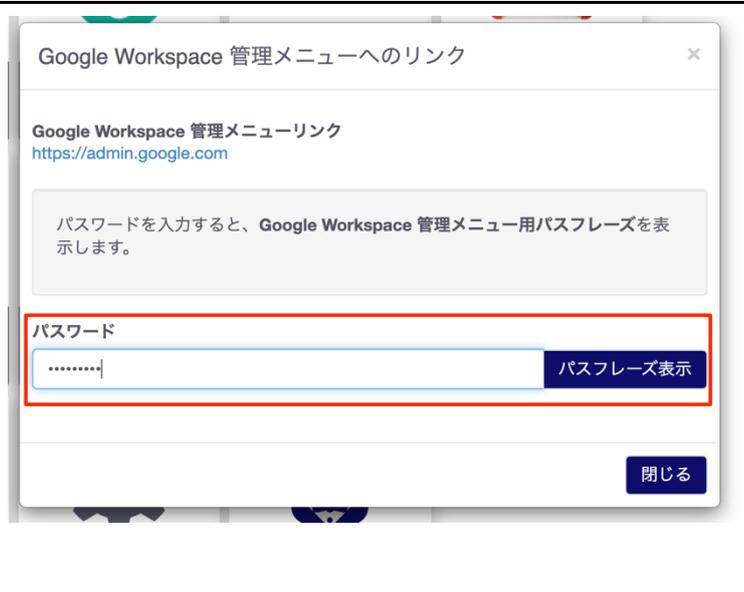
## 4.2. SSO 設定有効化

Google Workspace 管理コンソールへログインし、SSO 設定有効化を行います。

1. 「My KDDI Biz (旧 KDDI ビジネスオンラインサポート)」にて Google Workspace 管理メニュー をクリックします。



2. Google Workspace 管理メニューへのリンク情報がポップアップ表示されますので、「My KDDI Biz (旧 KDDI ビジネスオンラインサポート)」にログインする際のパスワードを入力し パズフレーズ表示 をクリックします。



3. Google Workspace 管理メニュー用アカウントおよびパスワードが表示されます。

Google Workspace 管理メニューリンク (<https://admin.google.com>) をクリックし、表示されているアカウントおよびパスワードを入力すると、管理メニューにアクセスできます。



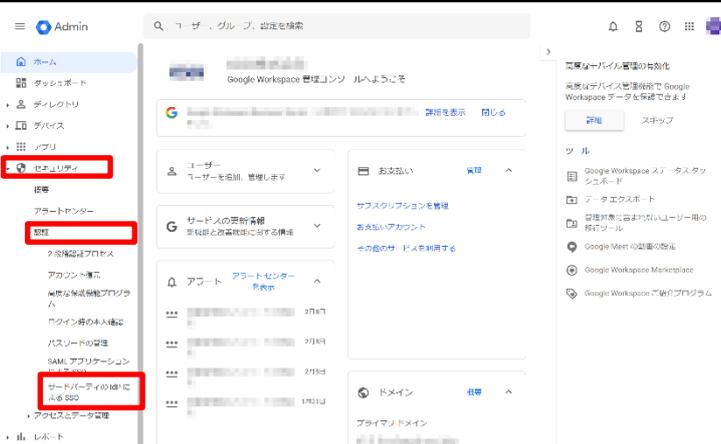
**【注意事項】 Google Workspace 側でパスワードを変更しないでください**

上記手順で Google Workspace 管理メニューにアクセス後、「Google Workspace」側でパスワードを変更しないでください。変更してしまうと連携が正常に行えなくなります。

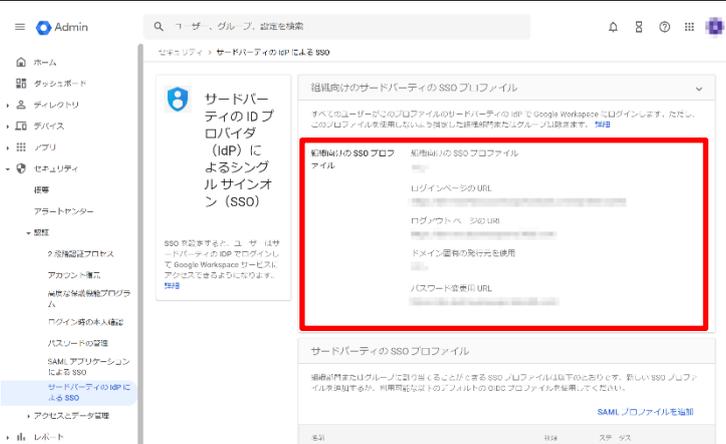
4. <https://admin.google.com> で、前の手順で表示されたアカウントおよびパスワードをコピー&ペーストで入力し **ログイン** します。



5. **セキュリティ** → **認証** → **サードパーティの IdP による SSO** をクリックします。



6. 組織向けサードパーティのSSOプロフィールをクリックします。



7. 入力フォームに以下の内容を入力します。

サードパーティの ID プロバイダで SSO を設定する：  
 チェックボックスにチェック

ログインページの URL：  
[「https://kbi.kddi.com/idp/SSO.saml2」](https://kbi.kddi.com/idp/SSO.saml2) を入力

ログアウトページの URL：  
[「https://businessportal.kddi.com/」](https://businessportal.kddi.com/) を入力

確認用の証明書：  
 4.1. でダウンロードした証明書をアップロード

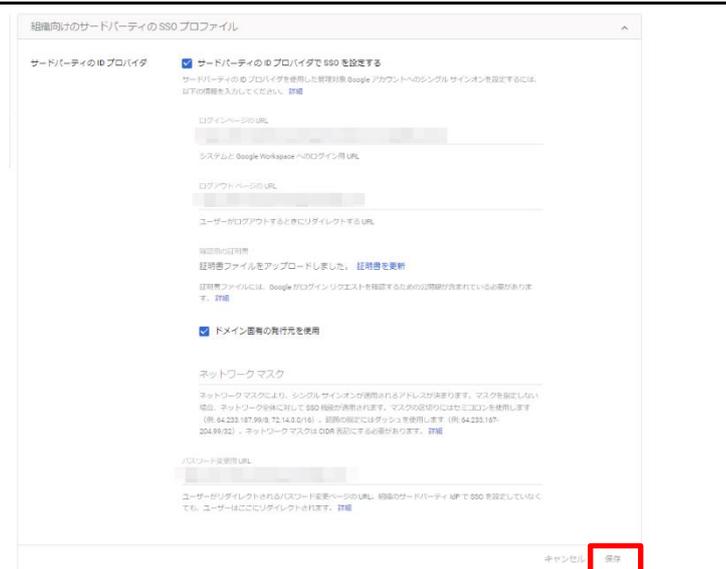
ドメイン固有の発行元を使用：  
 チェックボックスにチェック

パスワード変更 URL：  
[「https://businessportal.kddi.com/」](https://businessportal.kddi.com/) を入力



8. 保存 をクリックします。

これ以降、「KDDI Business ID」から「Google Workspace」への SSO ログインが可能となります。



## 第5章 Step 5 - Google Workspace サービス利用

Step 5 : ユーザによる、「KDDI Business ID」を利用した Google Workspace の利用方法について説明します。



### 5.1. サービス利用

「KDDI Business ID」経由での Google Workspace の利用方法です。

<p>1. ログイン画面で、ユーザ ID およびパスワードを入力し <b>Log in</b> をクリックします。</p> <p>URL : <a href="https://businessportal.kddi.com/">https://businessportal.kddi.com/</a></p> <p>(3.4. で設定したユーザ ID / パスワードを入力してください)</p>	
<p>2. メインメニューの「Gmail」「Google ドライブ」「Google カレンダー」の中で利用したいサービスをクリックします。</p>	
<p>3. サービスの利用画面が表示されます。これでログイン完了となります。</p> <p>※画面は Google ドライブです。</p>	

## 第6章 Google Workspace グループ設定

Google Workspace のグループ機能を利用する場合、SSO 切替後に本章の手順を元に設定してください。

### 6.1. Google Workspace グループを追加する

Google Workspace のグループを追加する手順です。

<p>1. サービス → <b>SSO 設定</b> をクリックします。</p>	
<p>2. Google Workspace の <b>設定</b> をクリックします。</p>	
<p>3. <b>グループ管理</b> をクリックします。</p>	
<p>4. Google Workspace グループ管理画面で <b>グループ追加</b> をクリックします。</p>	
<p>5. Google Workspace グループ追加画面で以下の情報を入力し <b>確認</b> をクリックします。</p>	
<p><b>【ポイント】 Google Workspace グループ情報</b></p>	

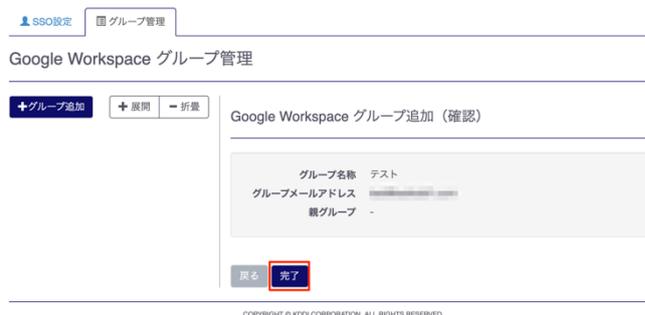
Google Workspace グループ情報として登録する項目は以下の通りです。

必須：○がついている項目は登録時に必ず入力する情報です

変更：○がついている項目は後から変更できますが、×がついている項目は後から変更できません。

項目名	必須	変更	入力制限	項目説明
グループ名称	○	○	半角英数字、記号、全角文字 1~60文字	グループを識別するための名称を入力します。
グループメールアドレス	○	×	半角英数字、記号 1~64文字	グループのメールアドレスを入力します。グループメールアドレスにメールが届くと、グループに追加したユーザにもメールが届きます。 ※グループメールアドレスは重複できません ※グループ削除後も過去に利用したグループメールアドレスは利用できません
親グループ	○	○	-	既存のグループの子グループとする場合は、親グループを指定します。 「-」を選択すると、最上位のグループとして作成されます。

6. Google Workspace グループ追加確認画面で内容を確認し **完了** をクリックします。



### **【ポイント】追加したグループは Google Workspace のグループに反映されます**

本サービスで追加した Google Workspace グループは、「Google Workspace」側のグループ画面に反映されます。

※Google Workspace のグループ画面で編集した場合、本サービスには反映されません。

## 6.2. Google Workspace グループを参照する

登録済の Google Workspace グループを参照する手順です。

1. Google Workspace グループ管理画面で、参照したいグループの **グループ名** をクリックします。



### **【ポイント】グループの展開・折畳について**

[展開ボタン]をクリックすると、作成したグループがすべて表示されます。

[折畳ボタン]をクリックすると、親グループのみの表示となり、子グループがすべて非表示となります。

親グループの左に表示されている[三角マーク]をクリックすると、その親の子グループが表示されます。

2. Google Workspace グループ詳細画面が表示されます。



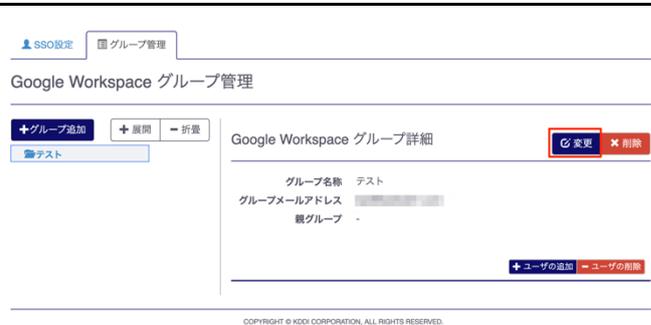
### 6.3. Google Workspace グループを変更する

登録済の Google Workspace グループの情報を変更する手順です。

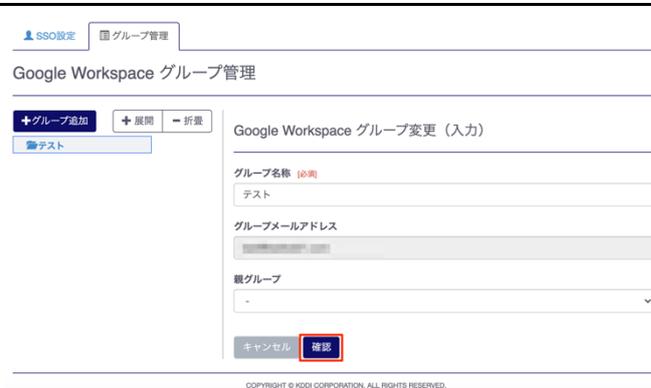
1. Google Workspace グループ管理画面で、変更したいグループの グループ名 をクリックします。



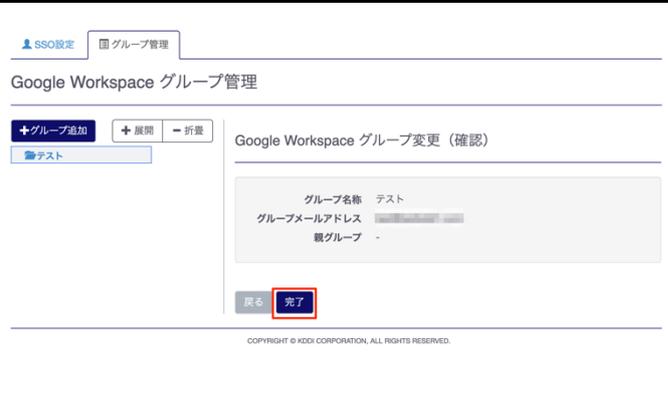
2. Google Workspace グループ詳細画面で 変更 をクリックします。



3. Google Workspace グループ変更画面で情報を変更し 確認 をクリックします。



4. Google Workspace グループ変更確認画面で内容を確認し **完了** をクリックします。



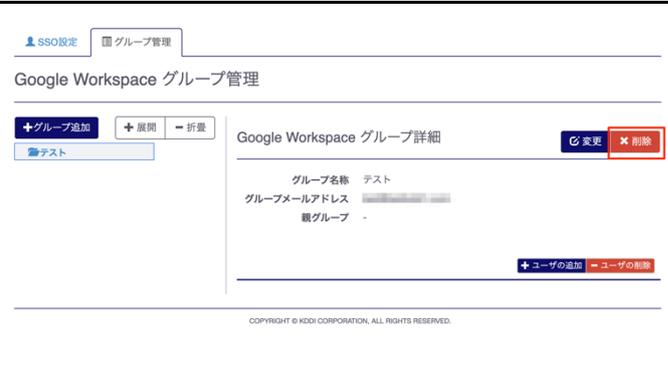
## 6.4. Google Workspace グループを削除する

登録済の Google Workspace グループを削除する手順です。

1. Google Workspace グループ管理画面で、削除したいグループの **グループ名** をクリックします。



2. Google Workspace グループ詳細画面で **削除** をクリックします。



3. Google Workspace グループ削除確認画面で **完了** をクリックします。



### 【ポイント】削除できないグループについて

子グループが存在する場合、その親グループを削除することはできません。  
先に子グループを削除してから親グループを削除してください。

## 6.5. Google Workspace グループにユーザを追加する

Google Workspace グループにユーザを所属させる手順です。

<p>1. Google Workspace グループ管理画面で、ユーザを追加したいグループの <b>グループ名</b> をクリックします。</p>	
<p>2. Google Workspace グループ詳細画面で <b>ユーザの追加</b> をクリックします。</p>	
<p>3. ユーザ追加画面で、追加したいユーザを選択し <b>確認</b> をクリックします。</p>	
<p>4. ユーザ追加確認画面で内容を確認し <b>完了</b> をクリックします。</p>	

## 6.6. Google Workspace グループからユーザを削除する

Google Workspace グループからユーザの所属を解除する手順です。

<p>1. Google Workspace グループ管理画面で、ユーザを削除したいグループの <b>グループ名</b> をクリックします。</p>	
--	--

2. Google Workspace グループ詳細画面で削除したいユーザを選択し ユーザの削除 をクリックします。



3. ユーザ削除確認画面で 完了 をクリックします。



## 第7章 利用開始後の操作／設定変更

ご利用開始後の各種操作／設定変更手順について説明します。

### 7.1. ユーザ情報変更

ユーザの登録情報を変更するには、『[KDDI Business ID 設定マニュアル](#)』の「ユーザの情報を変更する」を参照してください。

下記の情報については、「Google Workspace」へ連携されます。

連携元(KDDI Business ID ユーザ情報)	連携先(Google Workspace ユーザ情報)
姓	姓
名	名

※ユーザ ID は変更できません。

#### 【注意事項】 Google Workspace 側で情報変更した場合

上記連携項目については「KDDI Business ID」の情報がマスターとなります。「Google Workspace」側でも上記項目を変更することが可能ですが、次回のユーザ情報連携時に「KDDI Business ID」の情報に上書きされます。

### 7.2. ユーザの Google Workspace 権限変更

ユーザのサービス紐付け情報を変更するには、『[KDDI Business ID 設定マニュアル](#)』の「ユーザに追加したサービスの情報を変更する」を参照してください。ユーザの「Google Workspace」の権限を変更できません。

### 7.3. ユーザの Google Workspace 紐付け解除

ユーザのサービス紐付けを解除する手順については、『[KDDI Business ID 設定マニュアル](#)』の「ユーザに追加したサービスを削除する」を参照してください。

#### 【注意事項】 Google Workspace ユーザの連動削除について

「Google Workspace」側のユーザ情報も連動して削除されます。削除後はメールアドレスなどを復元できなくなる可能性があります。「Google Workspace」のユーザ情報を削除したくない場合は、削除確認画面で『Google Workspace 側のユーザアカウントは削除しない』にチェックを入れてください。

### 7.4. ユーザ削除

ユーザを削除する手順については、『[KDDI Business ID 設定マニュアル](#)』の「ユーザを削除する」「ユーザを一括削除する」を参照してください。

#### 【注意事項】 Google Workspace ユーザの連動削除について

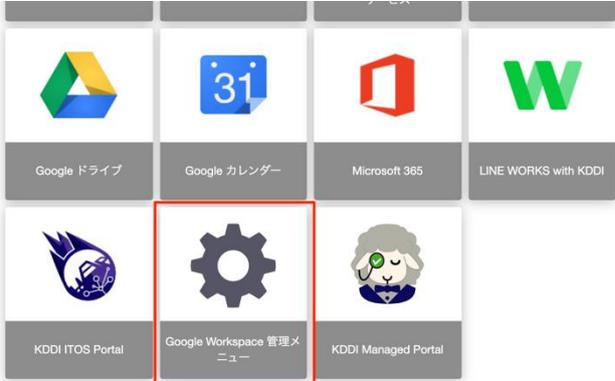
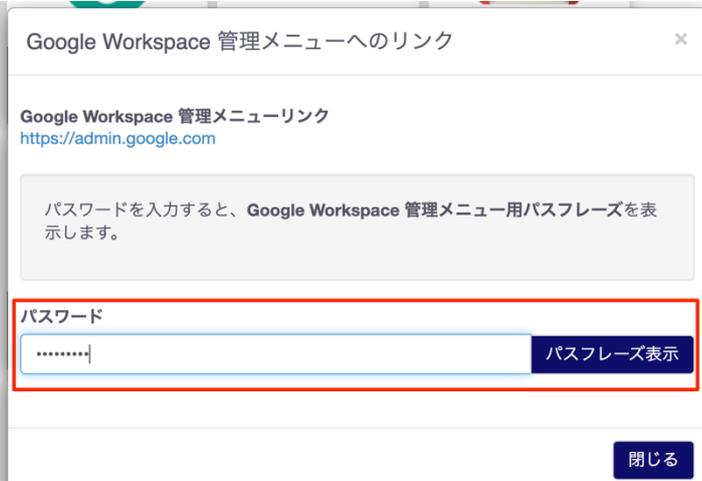
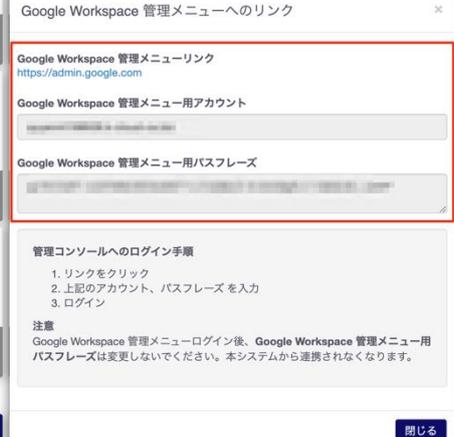
「Google Workspace」側のユーザ情報も連動して削除されます。削除後はメールアドレスなどを復元できなくなる可能性があります。「Google Workspace」のユーザ情報を削除したくない場合は、削除確認画面で『Google Workspace 側のユーザアカウントは削除しない』にチェックを入れてください。

## 7.5. SSO 設定解除

SSO 設定解除し Google Workspace 単体で利用を継続する場合、下記の操作を実施ください。

### 7.5.1. 「Google Workspace」SSO と ID 連携解除

Google Workspace 管理コンソールへログインし、SSO の設定を OFF にします。

<p>1. 「My KDDI Biz (旧 KDDI ビジネスオンラインサポート)」にて Google Workspace 管理メニュー をクリックします。</p>	
<p>2. Google Workspace 管理メニューへのリンク情報がポップアップ表示されますので、「My KDDI Biz (旧 KDDI ビジネスオンラインサポート)」にログインする際のパスワードを入力し パスフレーズ表示 をクリックします。</p>	
<p>3. Google Workspace 管理メニュー用アカウントおよびパスフレーズが表示されます。</p> <p>Google Workspace 管理メニューリンク (<a href="https://admin.google.com">https://admin.google.com</a>) をクリックし、表示されているアカウントおよびパスフレーズを入力すると、管理メニューにアクセスできます。</p>	

4. <https://admin.google.com> で、前の手順で表示されたアカウントおよびパスワードをコピー&ペーストで入力し ログイン します。



5. セキュリティ → 認証 → サードパーティの IdP による SSO をクリックします。



6. 組織向けサードパーティの SSO プロファイル をクリックします。



7. サードパーティの ID プロバイダで SSO を設定する チェックボックスにチェックのチェックを外す



8. **保存** をクリックします。



### 7.5.2. 「My KDDI Biz (旧 KDDI ビジネスオンラインサポート)」 SSO 設定解除

続いて「My KDDI Biz (旧 KDDI ビジネスオンラインサポート)」の Google Workspace SSO 設定の解除を行います。

本操作を行う前に必ず「7.5.1 「Google Workspace」 SSO と ID 連携解除」の操作を行ってください。

1. 「My KDDI Biz (旧 KDDI ビジネスオンラインサポート)」にログインし、サービス → **SSO 設定** をクリックします。



2. Google Workspace の **設定** をクリックします。



3. Google Workspace SSO 設定画面で **変更** をクリックします。



4. SSO 設定にて **しない** を選択し、**確認** をクリックします。



5. 確認画面にて **完了** をクリックします。



## 更新履歴

Ver.	更新箇所	更新内容
1.0.0	-	新規作成
1.0.1	第2章	Google API 変更に伴う各種設定手順として2章を追加
1.0.2	第2章	誤って登録した場合の復旧手順に関する注意文を追加
1.1.0	全般	一部表記を他マニュアルと統一
	1.3、7.1	ログイン画面変更に伴う画像差替え
1.2.0	全般	章立て変更(手順の統合/簡素化/タイトル変更)
1.3.0	2.2	サービスメニュー階層化に伴う画像差替え
	3.2	ユーザー括追加・変更機能追加に伴う追記
	4.2	Google Apps セカンダリドメイン追加に伴う章追加
1.4.0	第2章	文言/画像を最新のものに更新
1.4.1	全般	軽微な修正
2.0.0	全般	他マニュアルと体裁/記載レベルを統一
	第6章	G Suite グループ設定の章を他マニュアルから移動
2.0.1	第2章	文言/画像を最新のものに更新
2.1.0	全般	SSO 設定画面変更に伴う画像差替え
	2.3.	高度な設定の追加
2.2.0	第2章	文言/画像を最新のものに更新
2.3.0	全般	サービスの名称変更に従い、文言および画像を最新のものに更新
2.4.0	2.2.	画面構成の変更に伴い、画像を最新のものに更新
	4.1.	画面構成の変更に伴い、画像と説明を最新のものに更新
	6.1.	画面構成の変更に伴い、画像を最新のものに更新
2.5.0	2.1.	画面構成の変更に伴い、画像と説明を最新のものに更新
	認証情報設定2.2.	画面構成の変更に伴い、説明を更新
	4.2.	画面構成の変更に伴い、画像と説明を最新のものに更新
2.6.0	2.1.	SSO 設定画面の変更に伴い説明と画像を更新
	2.2.	
	2.3.	
2.7.0	2.1.2	軽微な修正
	2.1.3	
	2.3.1	
	4.2.	
2.8.0	全般	サービス名リニューアル (KDDI ビジネスオンラインサポート → My KDDI Biz) に伴う変更
2.8.1	第7章	利用開始後の操作説明の章を追加